

令和5年度 学校関係者評価(第2回)

認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

本園の学校関係者評価の委員会を開催し、幼稚園運営の改善を図るために検討した評価結果について報告します。今年度は2回会議を開催しました。各委員から出していただいた評価の結果を報告いたします。

1. 全体的評価

本園の教育方針、教育目標、保育内容等については、園児の育ちの姿が明確にされており、概ね良好である。子どもにとって大切な体験・経験できるように、保育の中に取り入れている事も、評価できる。5月よりコロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことから、緩和の状況になっている。園内では変わらず、消毒・換気・密など気をつけながら対応していく。園生活の中で保育活動もコロナ前に戻りつつある。参観など人数制限なしに再開している。保護者も参加できることを楽しみにしていた。普段の園での生活を見ていただける機会なので、先生たちもその中で工夫しようとしている姿がありよかった。未就園児対象事業「ぽっぴクラブ」や「ちびっこひろば」の取り組み等も評価されてよい。「ちびっこ広場」に関しては、参加される人数も増え、幼稚園という安心できる場所で保護者同士が関わりを持てたことをよるこぶ声を聞くことができた。地域のかかわりとしては、中学校区の健全育成の「駅頭でのあいさつ運動」には少人数だが参加できた。バラエティーフェスタにも参加した。これからも少しずつ取り組みに貢献できるようにしてほしい。園での活動がホームページでアップされ、子どもの様子や保育内容がみえた。行事だけでなく普段の生活の様子を多く発信することが良かったように感じる。クラスだよりでも写真が入ったものになり楽しみにしている。園からの連絡事項がアプリで送られるようになり、手紙よりアプリの方が保護者のニーズとしては大きい。アンケートや取り組みの参加・不参加についても、アプリに取り組みされたことで便利になり、良いとの意見をもらった。

2. 学校関係者評価の委員

No	氏名	
1	山田 由紀子	元大阪千代田短期大学講師
2	小坂 真	地域住民(卒園児保護者)
3	吉田 由花	PTA代表
4	井賀 裕子	PTA代表
5	堂山 仁美	PTA代表
6	松尾 有花	PTA代表
7	須田 晴子	PTA代表
8	西村 恵里奈	PTA代表

3. 開催日

第1回 2023年9月11日(月)

第2回 2024年1月22日(月)

4. 委員から出されたその他の主な意見

- ・「保護者と共に」をモットーにしているPTA活動は、各部の代表役員さんを中心に頑張っていたいでいる。昨年より少しずつ活動を再開しているが、いろんな取り組みをしたいという声も上がっているので、企画をたくさんあげていただいている。仕事をしている保護者も多いので、いつも参加とはいかないが、自分の興味に合わせて参加して下さっている。役員さんは各部でグループラインを作成し、連絡を取り合っている。自主的に各部の部員となっていたので、お手伝いの行事があると、積極的に参加していただいている。子どもたちと関わる機会のある行事などは特に多くの方が参加し、取り組みを盛り上げてくれている。クラス懇談が出来るようになったことで、幼稚園の様子や子どもの様子、子どもから聞くお友だちの顔を知れ、保護者同士の関わりが、少し広がった。
- ・7月にあった「夏まつり」で大阪千代田短大の学生さんが、お店コーナーなどをして子どもたちを楽しませてくれた。幼稚園にとっても、短大の学生にとっても良かったという意見があった。

- ・ 運動会は人数制限なしで行った。幼稚園はコロナ禍以降、午前だけにしていたが子どもの事、お弁当作りの大変さを考えるとそこは継続してもらえるとうれしいという声もあり午前だけの取り組みにすることにした。
- ・ 園の行事についての要望として、制作展をお店屋さんごっこに変更したが、その当日や作っている様子も見る事が出来ればうれしい。園での様子が見たい気持ちがあるので、参観時間をもう少し長くするやフリー参観日があればありがたいという意見もあった。
- ・ 講演会など学べる場があるとよい。参観の後にあれば、仕事の都合もつきやすく参加しやすい。内容など、年齢によって違うが、幼稚園と小学校の違いなど体験談など聞きたい。座談会形式なら話しやすいように思う。
- ・ 本園においても園児減の心配が絶えないが、存続させていくために前向きにどうしていくか、検討が必要。厳しい意見もいただきながら、欠点を少なくしていくことがいるのではないか。今、園・学園が一緒になって取り組んでいる「ちよたんの森」での活動は特色として大きな取り組みなのでしっかり活用し、周りにも広めていくことが必要。園での生活も楽しんでいるが、「ちよたんの森」での活動は、子どもたちがのびのびとしていて、今しかできないことだからだをしっかりと使って楽しめていると感じる。木登りをしたり、斜面を滑り降りたり、落ち葉の中に埋もれてみたりと、子どもたちが自分たちで遊びを考え、楽しめる力が良いと感じている、との意見もいただき、園でもより一層力を入れて取り組んでいきたいと思う。
- ・ 学園の他校種との連携も充実できてきている。放課後ボランティアで高校生たちが積極的に参加してくれている。その生徒たちの関わりに子どもたちも「お姉ちゃん先生・お兄ちゃん先生」と親しみを持って遊んでいる。また、年長組のお泊り保育には短大生が参加してくれ、遊びのコーナーやカレー作りなど諸々手伝ってくれた。このような連携が出来るのも千代田学園だからこそのものなので、引き続き大切にしていきたいと伝えた。
- ・ たくさんの意見が出され、きちんと評価していただいた。
園の事を真剣に考えてくださっていることに感謝し、これからも子どもたちのためにより一層丁寧にとりくんでいきたい。